

ガス給湯器 取扱説明書

保証書付

型式名

GQ-2437WS-FFA	GQ-2438WS-FFA
GQ-2037WS-FFA	GQ-2038WS-FFA
GQ-2037WS-FFA-1	GQ-1638WS-FFA
GQ-1637WS-FFA	GQ-2438WS-FFB
GQ-2437WS-FFB	GQ-2038WS-FFB
GQ-2037WS-FFB	GQ-1638WS-FFB
GQ-2037WS-FFB-1	
GQ-1637WS-FFB	

もくじ

ま ず は じ め に	必ずお守りください(安全上の注意) ……	2
	型式名と外観 ……	7
	初めてお使いになるときは ……	8
	各部のなまえとはたらき(機器本体) ……	9

使 い か た	リモコンがある場合	
	各部のなまえとはたらき(リモコン) ……	10
	操作部で 時計を合わせる/時計を表示させる ……	14
	浴室から操作部のチャイムを鳴らす ……	15
	お湯を出す/お湯の温度を調節する ……	16
	お風呂のお湯ほりをする<オートストップ> ……	18
	お湯ほり温度を調節する ……	20
	お湯ほり湯量を調節する ……	21
	各設定を変更する ……	22
	(リモコンの音量・音声ガイド・表示の節電)	
リモコンがない場合		
お湯を出す/お湯の温度を調節する ……	24	

必 要 な と き に	凍結による破損を予防する ……	25
	日常の点検・お手入れのしかた ……	27
	故障・異常かな?と思ったら ……	29
	アフターサービスについて ……	34
	主な仕様 ……	35
	冬期の入浴について ……	38
無料修理保証書 ……	裏表紙	



このたびは弊社製品をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- *この取扱説明書をよくお読みになって、正しくご使用ください。
- *保証書(裏表紙)は必ずお買い上げ日・販売店名などの記入を確かめてください。
- *この取扱説明書(保証書付)はいつでもご覧になれるところに保管してください。




株式会社ノリツ



必ずお守りください(安全上の注意)-1

お使いになる方や他の方への危害・財産への損害を未然に防止するために、つぎのような区分・表示をしています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ずお守りいただき、内容をよく理解して正しくお使いください。

■ 危害・損害の程度による内容の区分

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う危険、または火災の危険が差し迫って生じることが想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性、または火災の可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。
お願い	安全に快適に使用していただくために、理解していただきたい内容を示しています。

危険



ガス漏れに気づいたときは、

1. すぐに使用をやめる
2. ガス栓を閉める
メーターのガス栓も閉める
3. 窓や戸を開ける
4. 販売店または、
もよりのガス事業者（供給業者）
に連絡する



火気禁止

ガス漏れ時は、絶対に

- ・火をつけない
- ・電気器具のスイッチの入・切をしない
- ・電源プラグの抜き差しをしない
- ・周辺の電話も使用しない

火や火花で引火し、
火災の原因になります。



禁止

給排気筒が外れたり、穴があいたり、
つまった状態で使用しない

排気ガスが室内に漏れて、一酸化炭素中毒の原因になります。



警告



禁止

灯油、ガソリン、ベンジンなど、
引火のおそれのある物を機器のま
わりで使用しない

火災の原因になります。



禁止

スプレー缶やカセットこんろ用ボン
ベを、機器本体や給排気筒トップの
まわりに置かない、使用しない

熱でスプレー缶の圧力が上がり、スプレー
缶が爆発するおそれがあります。

(つづく)

(つづき)

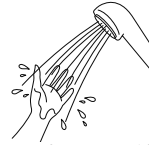


高温注意

シャワー使用時は、手で湯温を確認してから使用する

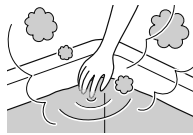
やけど予防のため。

- ・60℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- ・お湯の使いはじめは正常な温度でも、使用中に熱くなる場合があります。熱いお湯が出た場合は、すぐに使用を中止してください。なお、使用中にお湯が熱くなる状態が続く場合は機器故障の可能性があるので、販売店または弊社窓口にご連絡ください。
- ・夏場などの水温が高いときやお湯の量を絞って使ったとき、設定温度より高い温度のお湯が出る場合は、湯量を増やしたり水を混ぜたりしてから湯温を確認して使用してください。



入浴時も、浴槽の湯温を手で確認してから入浴する

やけど予防のため。



必ずおこなう

異常燃焼・異常臭気を感じたときや、地震・火災などの緊急時は、次の手順に従う

1. 給湯栓を閉める
2. 【リモコンがある場合】
運転スイッチを「切」にする
3. ガス栓・給水元栓を閉める
4. 販売店または、弊社窓口につながる

火災・感電・故障などの予防のため。



禁止

シャワー使用時は、使用者以外温度を変えない、運転スイッチ「切」にしない、リモコンの「優先」を切り替えない

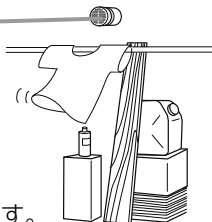
高温に変更されたときのやけど予防のため。
また、低温に変更されたり運転スイッチ「切」にされると、冷水になって使用者が驚く原因になります。



禁止

燃えやすい物をまわりに置かない (洗濯物、新聞紙、灯油など)

給排気筒トップ



火災の原因になります。



禁止

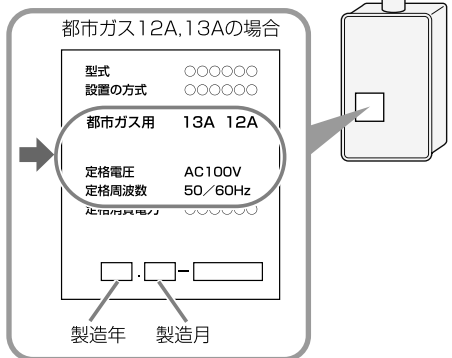
子供を浴室内で遊ばせない 子供だけで入浴させない

やけどやケガなど思わぬ事故の原因になります。



必ずおこなう

必ず銘板に表示のガス・電源で使用する



表示以外のガス・電源を使用すると、異常燃焼し、火災や感電の原因になります。



必ずおこなう

ガス配管接続工事には専門の資格、技術が必要なため、機器の設置・移動・取り外しおよび付帯工事は、販売店または、弊社窓口

安全に使用していただくため。



分解禁止

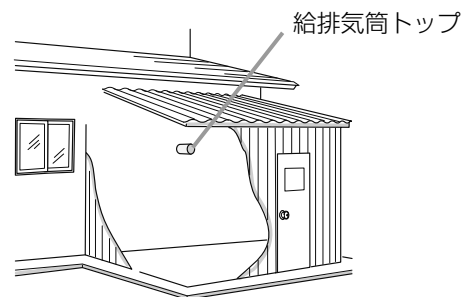
お客様ご自身では絶対に分解したり、修理・改造はおこなわない

思わぬ事故や故障の原因になります。



禁止

増改築などで屋内状態にしない (波板囲いなどをしない)



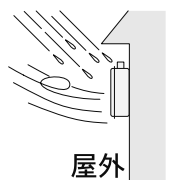
一酸化炭素中毒・火災の原因になります。



禁止

屋外に設置しない

雨水が浸入したり、炎が風にあおられたりして、故障や火災の原因になります。



屋外

(つづく)

必ずお守りください(安全上の注意)-2

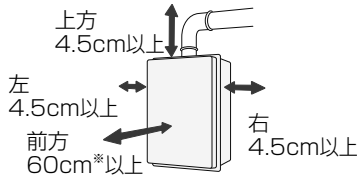
(つづき)



**燃えやすい物とは離す
(樹木、木材、箱など)**

必ず
おこなう

火災予防のため。



※印はアフターサービス上の寸法です。



太陽熱温水器とは絶対に接続しない

禁止

お湯の温度制御ができなくなり、やけどや機器の故障の原因になります。



外壁の塗装や増改築、家屋の修繕時などに給排気筒トップが養生シートで覆われた場合は、機器を使用しない

禁止

不完全燃焼や一酸化炭素中毒、爆発着火の原因になります。

⚠️ 注意



必ずアースする

必ず
おこなう

機器が故障した場合、感電の原因になります。アースがされていない場合は、販売店にご相談ください。



電源プラグはぬれた手でさわらない

ぬれ手禁止

感電の原因になります。



感電注意



電源コード、電源プラグの破損・加工をしない

禁止

束ねたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、物を乗せたり、衝撃を与えたりして無理な力を加えない。傷つけない。加工しない。

感電、ショート、火災の原因になります。



機器の給気口が、ほこり・ゴミなどでふさがっていないか確認する

必ず
おこなう

不完全燃焼の原因になります。



機器の点検・お手入れ・水抜きをする場合、運転スイッチ「切」にして(または電源プラグを抜いて)、機器が冷えてからおこなう

必ず
おこなう

やけど予防のため。

機器の使用直後は機器内のお湯が高温になっています。



電源プラグは、コードを持たずに電源プラグを持って抜く

必ず
おこなう

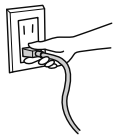
コードを持って抜くと、コードが破損し、発熱、火災、感電の原因になります。



電源プラグは根元まで確実に差し込む

必ず
おこなう

差し込みが不十分だと、感電や火災の原因になります。



電源プラグのほこりは定期的に取り

必ず
おこなう

ほこりがたまると、火災の原因になります。電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。



給湯、シャワー、お湯はり以外の用途には使用しない

禁止

思わぬ事故を予防するため。



使用中や使用後しばらくは、給排気筒トップ・給排気筒付近に触れない

接触禁止

やけど予防のため。



子供を機器の周囲、直下で遊ばせない

禁止

思わぬ事故の原因になります。

お願い



雷が発生しはじめたら、すみやかに運転を停止し、電源プラグを電源コンセントから抜く(またはブレーカーを落とす)

電源プラグを抜く

雷による一時的な過電流で電子部品を損傷することがあります。

雷がやんだあとは電源プラグを電源コンセントに差し込み、操作部で時計を合わせてください。



※冬期は、電源プラグを長時間抜くと凍結のおそれがあります。

ぬれ手禁止

※落雷被害に有効な火災保険へのご加入をおすすめします。



感電注意



ぬれた手でさわらない
(感電のおそれがあります)

機器や配管に長時間たまった水や、朝一番のお湯は飲まない、調理に使用しない

雑用水として使用してください。

業務用のような使いかたをしない

製品の寿命を短くします。

業務用のような使いかたをした場合の修理は、保証期間内でも有料になります。

機器のまわりはきれいにしておく

まわりが雑草、木くず、箱などで雑然していると、機器の内部にゴキブリが侵入したりクモの巣がはったりして、機器の損傷や火災の原因になることがあります。

【リモコンがある場合】

運転スイッチ「切」時にはお湯側から水を出さない

お湯を出すときには、運転スイッチ「入」を確認してください。

運転スイッチ「切」時にお湯側から長時間水を出すと熱交換器内に結露現象が発生し、不完全燃焼の原因になったり、電気部品の損傷の原因になる場合があります。

シングルレバー式混合水栓の場合は、レバーを完全に水側にセットしてから水を出してください。

浴槽、洗面台はこまめに掃除する

湯あかが残っていると、水中に含まれるわずかな銅イオンと、せっけんなどに含まれる脂肪酸とが反応して、青く変色することがあります。

操作部は0℃～40℃の室温で、浴室リモコンは0℃～50℃の室温で使用する

故障の原因になります。

操作部・リモコンを分解しない

故障や、思わぬ事故の原因になります。

操作部・リモコンの掃除には、塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しない

変形する場合があります。

操作部・増設リモコンに、水しぶきをかけない、蒸気を当てない

炊飯器、電気ポットなどに注意。

故障の原因になります。

浴室リモコン・防水型増設リモコンに故意に水をかけない

防水型ですが、多量の水は故障の原因になります。

リモコンを子供がいたずらしないように注意する

使用時の点火、使用後の消火を確認する

ガス事故防止のため。

この機器の純正部品以外は使用しない

思わぬ事故の原因になります。

必ずお守りください(安全上の注意)-3

(つづき)

**排気ガスが直接建物の外壁・窓・アルミサッシなどや、物置などの塗装品などに当たらないように設置する
増改築時も同様に注意する**

ガラスが割れたり、変色したり、塗装がはがれたりする原因になります。

塀などを増設する場合は、機器の点検・修理に必要な空間を確保し、空気の流れが停滞しないように考慮する

塀などと機器との間に十分な空間がないと、機器の点検・修理に支障をきたす場合があります。また、機器の周囲の空気の流れが停滞すると、燃焼不良になるおそれがあります。(機器の修理・点検に必要な空間については、販売店または、弊社窓口にご確認ください)

**【リモコンがある場合】
停電後や、長期不在などで電源プラグを抜いたあとは、現在時刻を確認する**

時計がリセットする場合があります。

停電すると、運転が停止します

凍結による破損を予防する (☞ P25,26)

暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、必要な処置をしてください。
凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

長期間使用しない場合、必要な処置をする (☞ P26)

凍結および万が一のガス漏れを防止するため。

積雪時には給排気筒トップの点検、除雪をする

雪により給排気筒トップがふさがれると不完全燃焼し、機器の故障の原因になることがあります。

機器に法定のラベルが貼付されていることを確認する

「特定ガス消費機器の設置工事の監督に関する法律」の対象であり、法定資格を有する者以外、設置・移設できません。

温泉水、井戸水、地下水で使わない

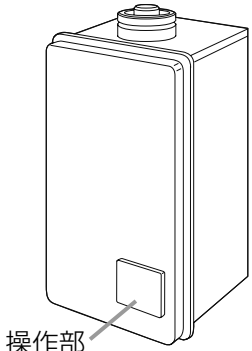
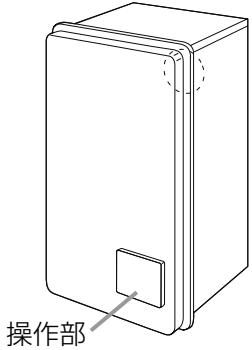
水質によっては、機器内の配管に異物が付着したり、腐食して水漏れすることがあります。この場合の修理は保証期間内でも有料になります。

一般的な使用で10年相当使用すると「点検お知らせ機能」がはたらいて、リモコンに「88」を表示します

機器は使用できますが、安全・安心のために点検(有料)をご検討のうえ、下記のお問い合わせ先までお申し込みください。

お問い合わせ先 0120-911-026(ガイダンス番号0番)
(受付時間/365日24時間)

型式名と外観

	外 観	型 式 名
屋 内 設 置 形	<p>屋内設置強制給排気形 (二重管)</p> 	<p>GQ-2437WS-FFA GQ-2438WS-FFA GQ-2037WS-FFA GQ-2038WS-FFA GQ-2037WS-FFA-1 GQ-1638WS-FFA GQ-1637WS-FFA</p>
	<p>屋内設置強制給排気形 (後方給排気)</p> 	<p>GQ-2437WS-FFB GQ-2438WS-FFB GQ-2037WS-FFB GQ-2038WS-FFB GQ-2037WS-FFB-1 GQ-1638WS-FFB GQ-1637WS-FFB</p>

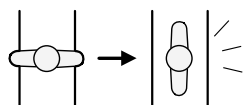
※操作部がない場合もあります。

初めてお使いになるときは

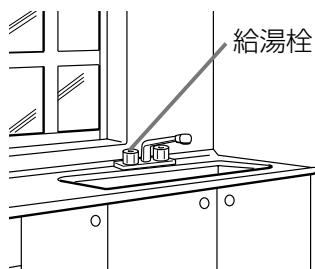
初めてお使いになるときは、次の準備と確認が必要です。

1～4の手順でおこなってください。

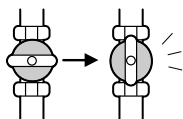
1 給水元栓を全開にする。



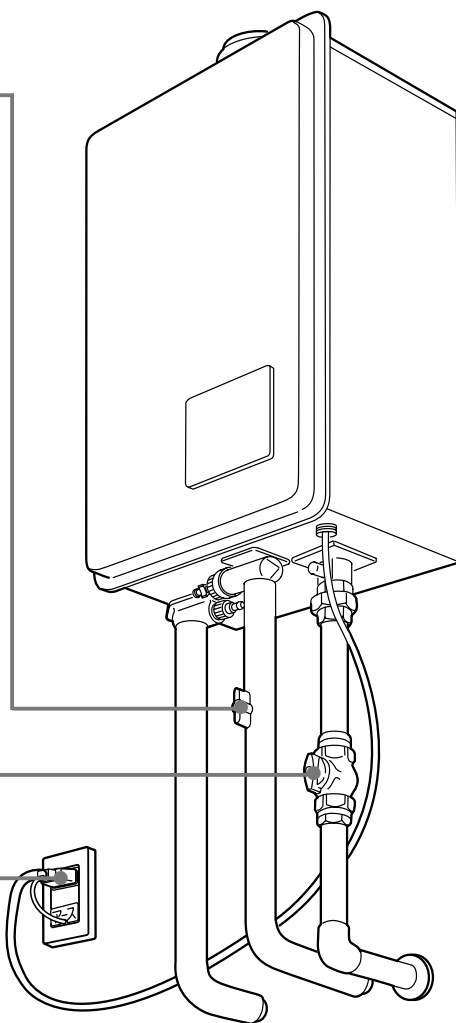
2 給湯栓を開け、水の出ることを確認し、再度閉める。



3 ガス栓を全開にする。



4 電源プラグを差し込む。
ぬれた手でさわらない

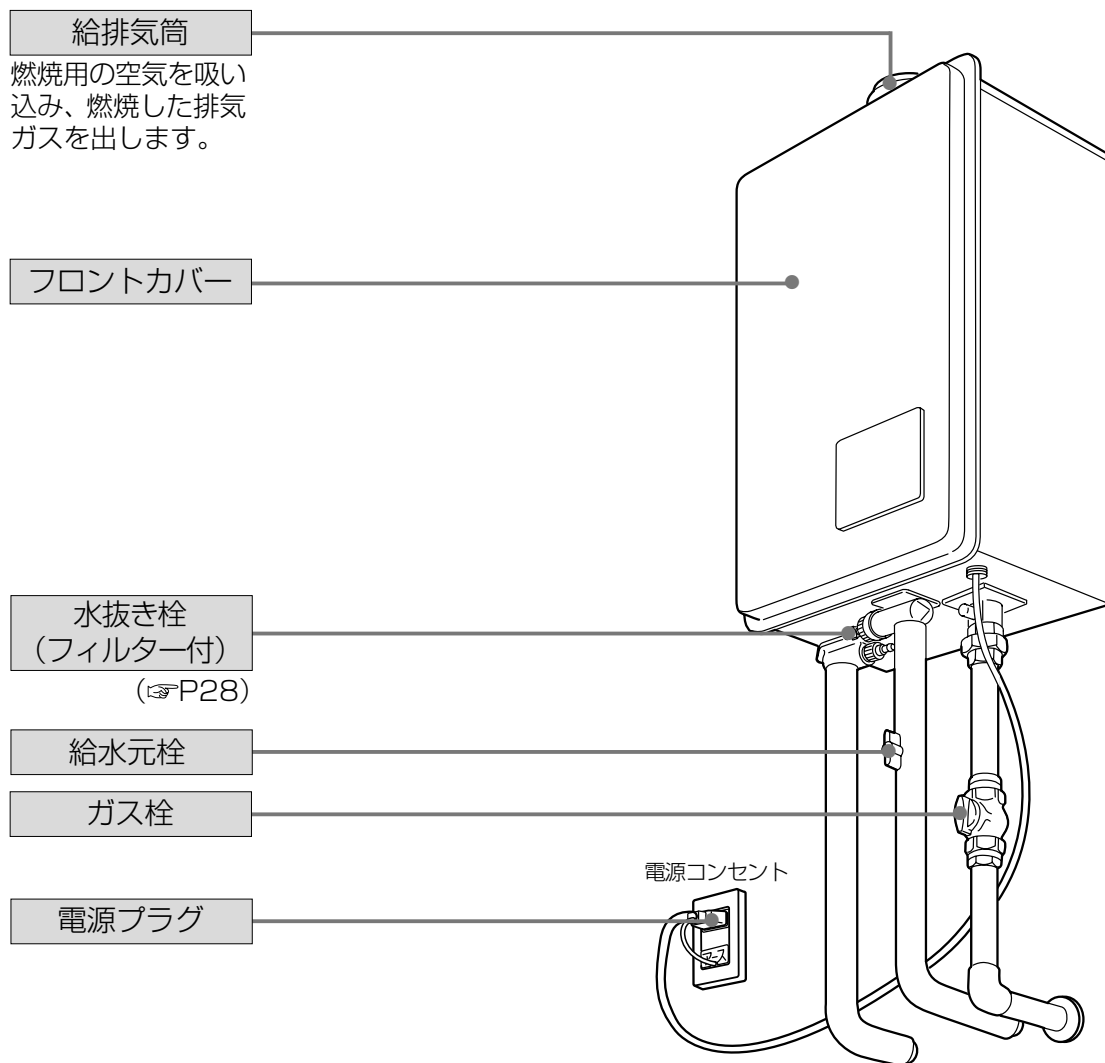


(例：GQ-2437WS-FFA)

各部のなまえとはたらき(機器本体)

イラストは施工例です。

配管の形状、給水元栓・ガス栓・電源コンセントの位置など実際と異なります。



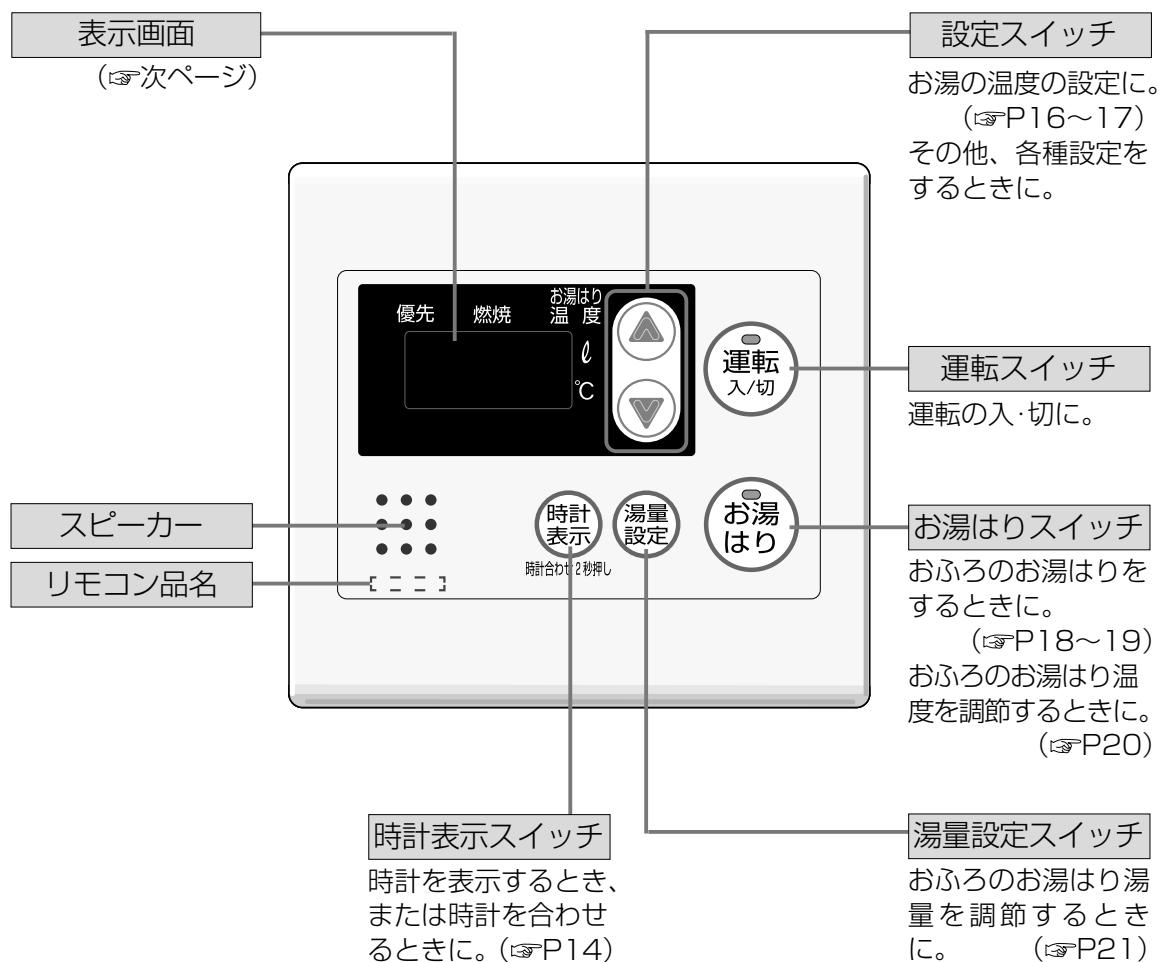
(例 : GQ-2437WS-FFA)

各部のなまえとはたらき(リモコン)-1

操作部(リモコン・RC-7607M)

機器に組み付けられています。(部屋の壁に取り付けられている場合もあります)

※本取扱説明書では、操作部・浴室リモコンを併せて「リモコン」として説明しています。

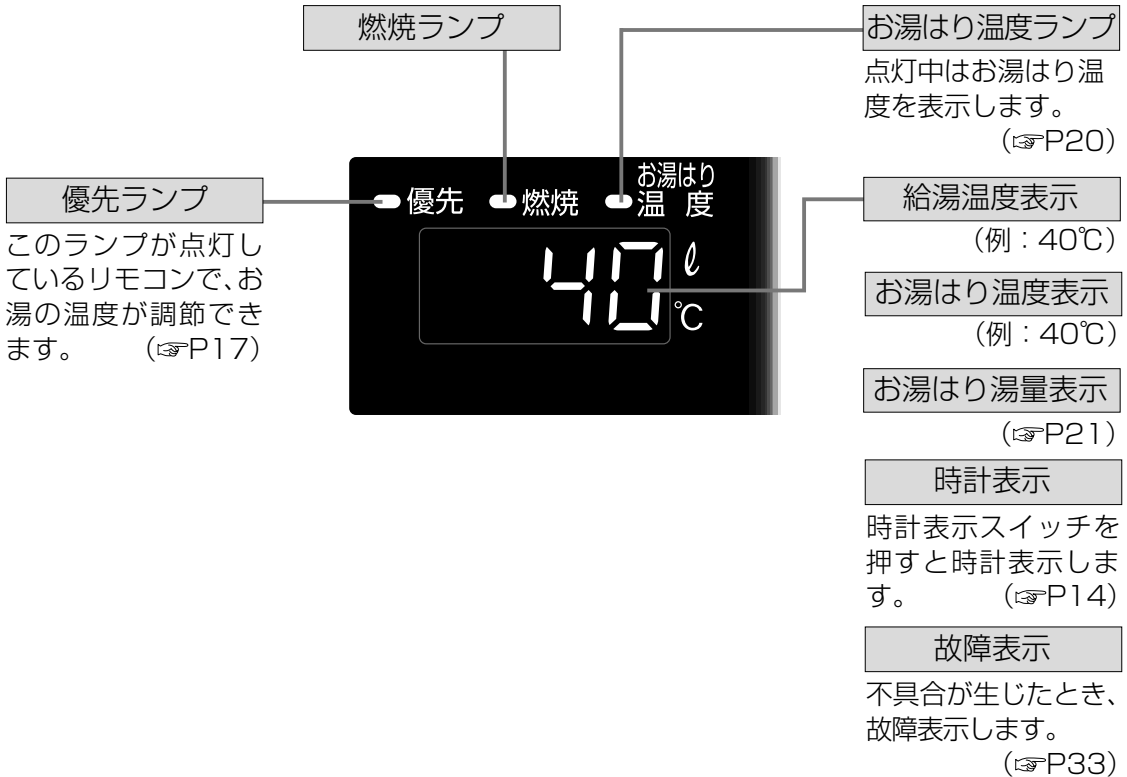


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

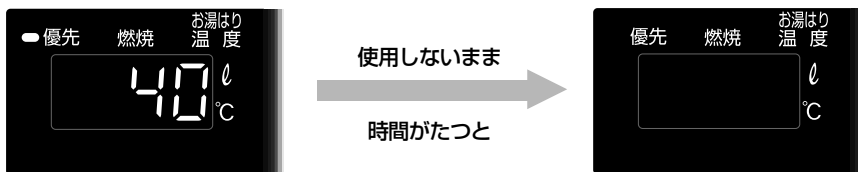
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

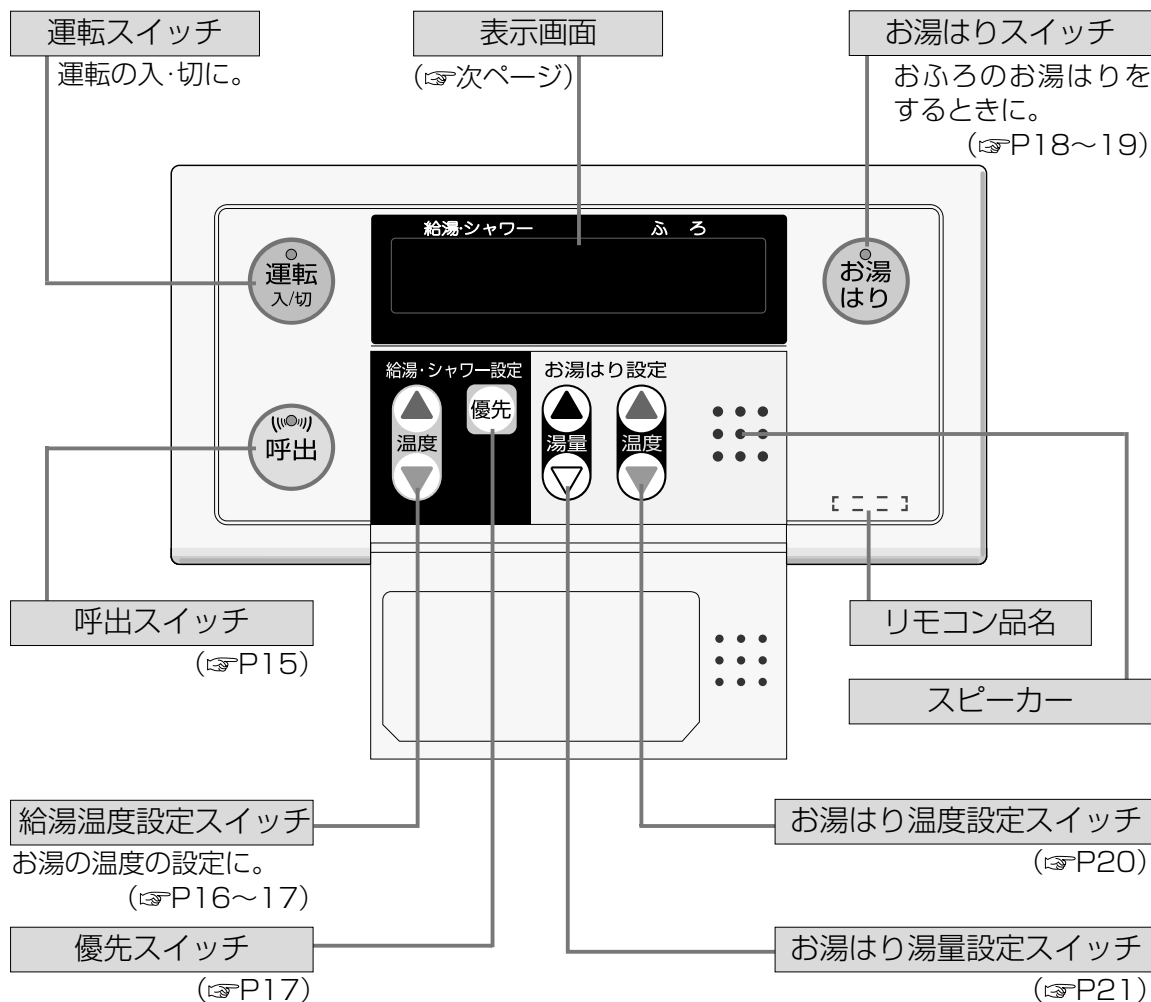
- *再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。
- *給湯温度を60℃、75℃に設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。
- *時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

各部のなまえとはたらき(リモコン)-2

浴室リモコン(RC-7607S)〈別売品〉

浴室に取り付けられています。

※本取扱説明書では、操作部・浴室リモコンを併せて「リモコン」として説明しています。

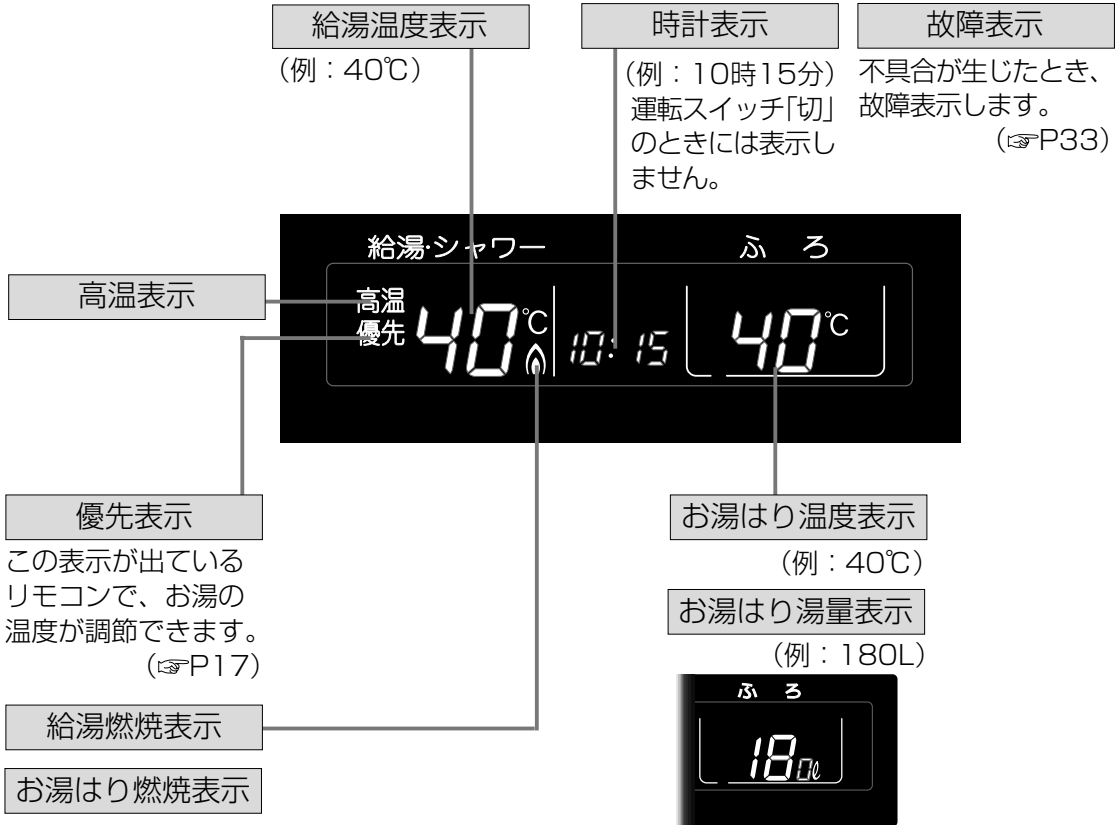


※ご使用になる前に、リモコン表面の保護シートを取り外してください。

その他の別売品リモコンをお使いの場合は、それぞれの取扱説明書をご覧ください。

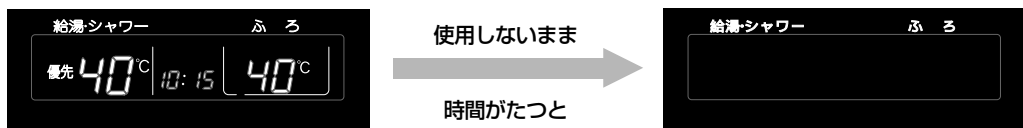
表示画面

下記の表示画面は説明のため、全て表示したものです。
実際の運転のときは、該当部分を表示します。



リモコンの無駄な電力消費を防ぐ <表示の節電>

リモコンの無駄な電力消費を防ぐため、機器を使用しないまま約10分(お湯はりの機能を使った場合約1時間)たつと、画面表示が消えて、運転ランプのみ点灯します。



※画面が消えても、運転は「入」の状態です

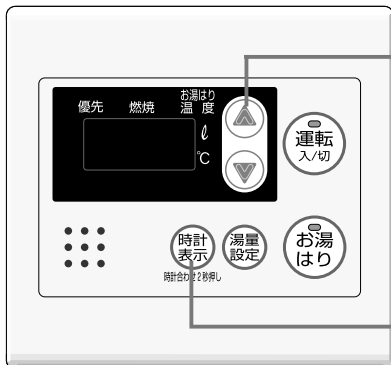
※再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。

※給湯温度を60°C、75°Cに設定している場合は、安全のため、表示の節電はしません。

使いかた(リモコンがある場合)

操作部で時計を合わせる/時計を表示させる

(操作部)

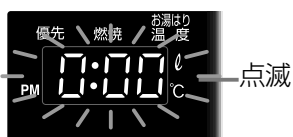


時計合わせは操作部でします。
(浴室リモコンではできません)

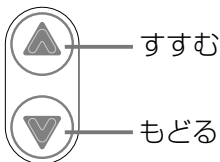
運転スイッチの「入・切」に関係なく、
時計合わせや時計を表示させることができ
ます。(イラストは「切」の状態です)

時計を合わせる

1 時計表示スイッチ
を押す
(**0:00**が点滅するまで)



2 時計を合わせる



一度押す毎に1分ずつ、押し
続けると10分ずつ変わります。



例：「午前10時15分」のとき

3 時計表示スイッチを
押す



点滅から点灯に変わり、時計
が動き出します。



時計を表示させる

時計表示スイッチを押してください。
もう一度押すと、時計表示が消えます。



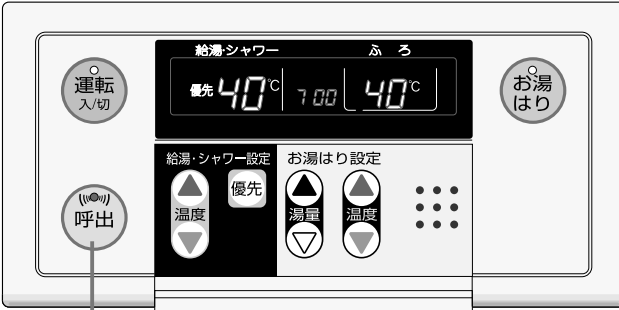
- 時計表示中に、お湯を使用したりお湯の温度を変更したりすると、時計表示は消えます。
- お湯の使用中や、60℃、75℃の高温設定時に時計表示スイッチを押すと、10秒間時計表示し、その後、元の画面表示に戻ります。
- 停電後または電源プラグを抜いたあと、再通電すると**0:00**に表示が変わりますので、時計合わせをしておいてください。
- 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。

使いかた(リモコンがある場合)

浴室から操作部のチャイムを鳴らす

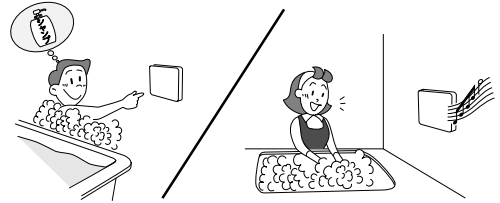
(操作部・浴室リモコンの両方がある場合)

(浴室リモコン)



浴室にいるときに、何か必要な物があったり気分が悪くなって人を呼びたいとき、呼出スイッチで知らせることができます。

(インターホンではないので会話はできません)



呼出スイッチを押す

チャイムで呼び出します。



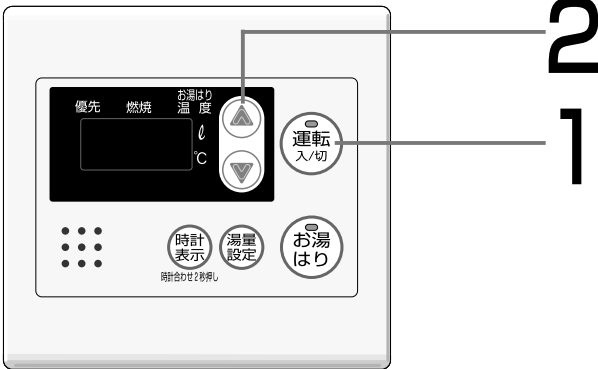
押し続けると、手をはなすまでチャイムをくりかえします。

●呼出スイッチは運転スイッチの「入・切」に関係なく使用できます。

使いかた(リモコンがある場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

(操作部)



(浴室リモコン)



ここでは操作部でご説明します

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする



点灯



前回に設定した給湯温度 (例: 40℃)

警告



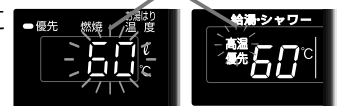
やけど予防のために

高温注意

- シャワーを使用するときは、いきなり体や顔にかけず、リモコンの給湯温度表示を確認し、手でお湯の温度を確認してから使用してください。
- 60℃、75℃に設定したときは、音声で“あついお湯が出ます。給湯温度を〇〇℃に変更しました”とお知らせし、右のような表示になります。
- 表示の温度をよく確かめてから使用してください。
60℃、75℃の高温で使ったあと、あらためて使用するときは特に注意してください。
- シャワーなどお湯を使用中のとき、他の人はお湯の温度を変更しないでください。
- シャワーやお湯の使用時、他の人は《優先》を切り替えしないでください。切り替えたほうの前回設定した温度に変わります。



約10秒間 点滅→点灯



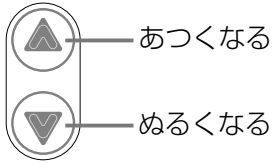
<操作部>

<浴室リモコン>



<一度設定すると記憶します>

2 設定スイッチで給湯温度を調節する (変更しないときは温度を確認する)



点灯確認



変更した給湯温度

3 給湯栓を開ける



燃焼中 点灯



4 使用後は給湯栓を閉める



消灯



お湯の温度の目安

(°C) ・目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、
・実際の温度とは異なります。

37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48	60	75
食器洗い など	シャワー、給湯など				給湯など				高温				

※初期設定(工場出荷時)=40°C

サーモ付混合水栓の場合は、リモコンのお湯の温度設定をご希望の温度より約10°C高く設定すると、ちょうどよくなります。

いったん運転スイッチを「切」にし、再使用する場合、前回の設定温度が75°Cのときは、安全のため60°Cになります。

温度調節ができない場合は、以下の操作をしてください<優先切替>

(設定温度は例です)

	温度調節できない状態	優先切替する	温度調節できる状態
浴室リモコン	「優先」表示していない 	優先スイッチを押す 	表示
操作部	点灯していない 	運転スイッチを「切」(消灯)にして 	再度「入」(点灯)にする 点灯

※給湯温度設定スイッチを押すと
音声で“優先スイッチを押してください”

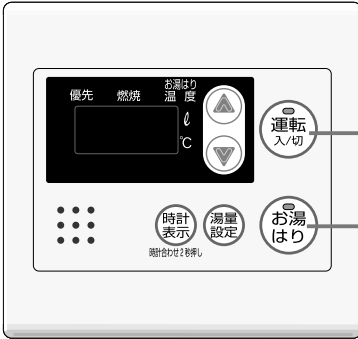
※設定スイッチを押すと
音声で“浴室優先です”

※お湯はり中にこの操作をするとお湯はりが停止します。

使いかた(リモコンがある場合)

お風呂のお湯はりをする<オートストップ>

(操作部)



(浴室リモコン)



ここでは操作部でご説明します

運転前の準備

1. 浴槽の排水栓を閉める。
2. 浴槽にふたをする。
(お湯はり部分は開ける)

<運転スイッチ「切」のとき>

1 運転スイッチを「入」にする

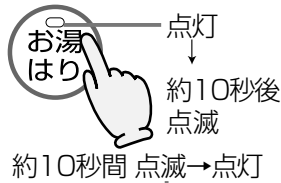


給湯温度(例: 40℃)

お湯はり温度・湯量の変更

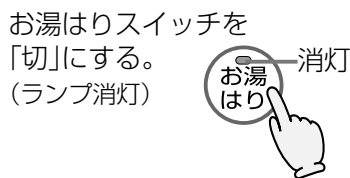
20~21ページ参照

2 お湯はりスイッチを「入」にする



お湯はり温度(例: 42℃)

給湯栓を開ける前にお湯はりをやめたいとき



3 お風呂の給湯栓を開ける



点灯



※サーモ付混合水栓の場合は、水栓側の温度設定を最も高温にしてください。

給湯栓を開けたあとお湯はりをやめたいとき

給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。
※“お湯はりの設定を解除しました”と音声でお知らせしてお湯はりランプが消えるまで、給湯栓を開けないでください。

■サーモ付混合水栓を使用している場合

- お湯はり時は必ず水栓側の温度設定を「H」または「高」の位置までまわして使用してください。

中間の位置で使用すると、水が混ざるため浴槽からお湯があふれたり、ぬるくなる場合があります。

※給湯栓の構造により「H」または「高」の位置でもお湯はり完了後、水が多少流れる場合があります。湯温がさがったり、浴槽からお湯があふれることがありますので、メロディが鳴ったらすぐに給湯栓を閉めてください。



警告



やけど予防のために

高温注意

給湯栓を閉めた後、水栓側の温度設定を40℃ぐらいの位置にもどしてください。

<オートストップ>とは

浴槽にお湯をはるときお湯はり湯量を設定(☞P21)しておくとし、その量になったときにメロディと音声(“お風呂が沸きました”)でお知らせし、お湯が自動的に止まります。
(給湯栓は開いたままなので必ず閉めてください)



お湯はり完了後10分以内に給湯栓を閉めなかった場合は、お湯が使用できません。

メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら、リモコンに「OFF」を表示しますので、給湯栓を閉めてお湯はりスイッチを押してください。

“お湯はりの設定を解除しました”と音声でお知らせし、お湯はりランプが消えたらお湯が使用できます。

4 お湯はりメロディが鳴ったらお風呂の給湯栓を閉める



メロディでお知らせ
+
音声で“お風呂が沸きました”
“給湯栓を閉めてください”

※他でお湯を使用している場合はその給湯栓も閉めてください。

<給湯栓を閉めると>

- ・しばらくして(約30秒以内)音声で“お湯はりの設定を解除しました”とお知らせします。
- ・お湯はりランプが消灯します。

<給湯栓を閉めなかったら>

メロディが鳴ってから約10分間、給湯栓が閉まったかどうかを確認するため自動的に機器が水を流し、給湯栓から少量の水が出たり止まったりします。
給湯栓を閉めると水は止まります。

<メロディが鳴ってから給湯栓を閉めないまま約10分経過したら>

下記の表示が出ますので、すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。
※“お湯はりの設定を解除しました”と音声でお知らせしてお湯はりランプが消えるまで、給湯栓を開けないでください。

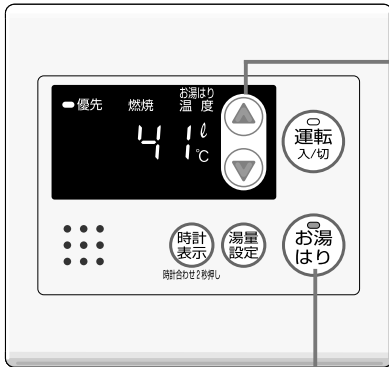


- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、設定したお湯はり温度のお湯が出ます。
- お湯はり中に台所やシャワーなどでお湯を使用すると、使用した分だけお湯はり量が少なくなります。
- 前日などの残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
- 残り湯(水)がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりをする場合、浴槽に残っているお湯(水)の量だけ、設定したお湯はり湯量より多くなります。

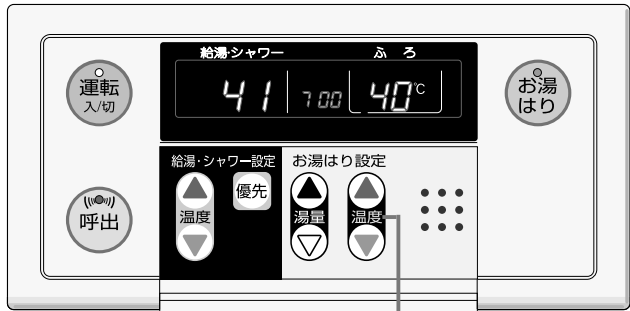
使いかた(リモコンがある場合)

お湯はり温度を調節する

(操作部)



(浴室リモコン)



2

1,3

浴室リモコンでは、このスイッチの操作(手順2)のみで調節できます

ここでは操作部でご説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

<一度設定すると記憶します>

1 (操作部のみ)
お湯はりスイッチを「入」にする

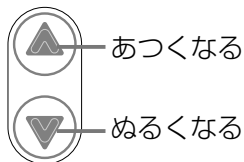


約10秒間 点滅→点灯



前回設定したお湯はり温度
(例: 40°C)

2 設定スイッチで
お湯はり温度を
調節する



変更したお湯はり温度

3 (操作部のみ)
お湯はりスイッチで
給湯表示画面に戻す



消灯



給湯温度

2で変更した温度でそのままお湯はりするときは、3でお湯はりスイッチを押さずに給湯栓を開けてください。

お湯はり温度の目安

(°C: 目安の温度ですので、季節や配管の長さなどの条件により、実際の温度とは異なります。)

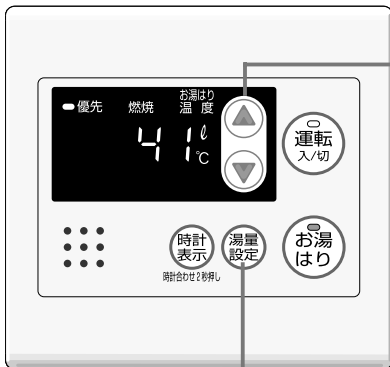
37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
ぬるめ			ふつう			あつめ					

※初期設定(工場出荷時)=40°C

使いかた(リモコンがある場合)

お湯はり湯量を調節する

(操作部)



(浴室リモコン)



2

1,3

浴室リモコンでは、このスイッチの操作(手順2)のみで調節できます

ここでは操作部でご説明します

※運転スイッチ「切」のときは必ず「入」にしてください。

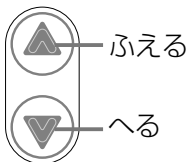
<一度設定すると記憶します>

1 (操作部のみ)
湯量設定スイッチを押す



前回設定したお湯はり湯量
(例: 180L)

2 設定スイッチでお湯はり湯量を調節する



変更したお湯はり湯量

3 (操作部のみ)
湯量設定スイッチで給湯表示画面に戻す



給湯温度

最後に湯量設定スイッチを押し忘れた場合でも、2の段階で変更した湯量で確定します。

お湯はり湯量

40~260(20Lきざみ)・300・350・400Lの値で調節できます。

※初期設定(工場出荷時)=180L

●音量を「0(なし)」に設定するとお湯はりメロディは鳴りません。(P23)

使いかた(リモコンがある場合)

各設定を変更する(リモコンの音量・音声ガイド・)

リモコンの音量を変える

操作音・音声ガイドの音量変更のほか、音を消すこともできます

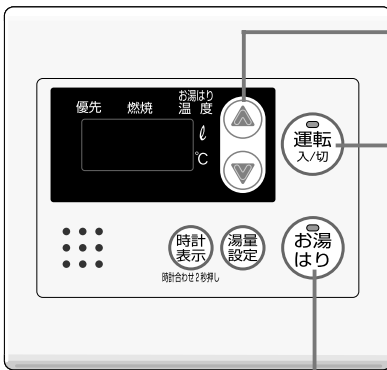
リモコンの音声ガイドを消す

音声ガイド「あり/なし」の切り替えができます

リモコンの表示の節電をしない

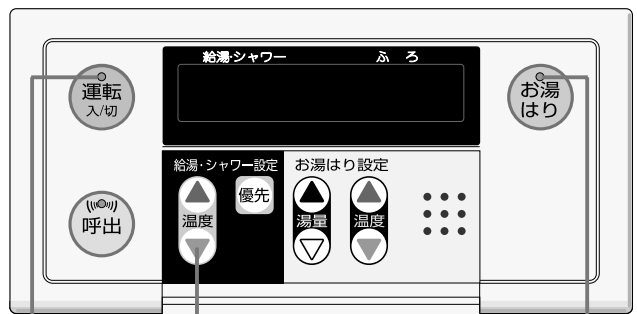
表示の節電「する/しない」の切り替えができます

(操作部)



2,3

(浴室リモコン)



1

4

2,3

1 運転スイッチを「切」にする

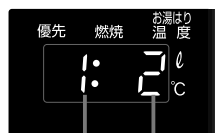
運転スイッチ「切」の状態でのみ各設定の変更ができます。



2 お湯はりスイッチをピッと鳴るまで(2秒間)押す



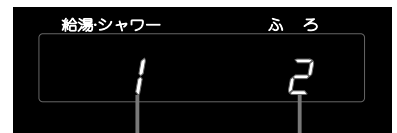
操作部



音量設定モード
点灯

現在の設定 点滅

浴室リモコン



音量設定モード
点灯

現在の設定 点滅

表示の節電)

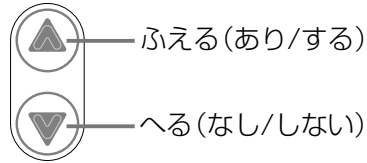
3 お湯はりスイッチで設定モードを選ぶ



押すごとに切り替わります。



4 設定スイッチで変更する (浴室リモコンの場合は給湯温度設定スイッチで)



表示画面は操作部でご説明します

2 = 初期設定(工場出荷時)

音量	操作部・浴室リモコンそれぞれで設定を変更できます	「1」にする 音量設定モード		<table border="1"> <tr> <td style="text-align: center;">0</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="background-color: #ccc; text-align: center;">2</td> <td style="text-align: center;">3</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">なし</td> <td style="text-align: center;">小</td> <td style="background-color: #ccc; text-align: center;">中</td> <td style="text-align: center;">大</td> </tr> </table> <ul style="list-style-type: none"> ・「お湯はりメロディ」(☞P19)は鳴りません。 ・「呼び出し音」(☞P15)は鳴ります。 	0	1	2	3	なし	小	中	大
	0	1	2	3								
	なし	小	中	大								
音声ガイド	「2」にする 音声ガイド設定モード		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ccc; text-align: center;">on (あり)</td> <td>音声ガイドでお知らせします</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">off (なし)</td> <td>音声ガイドでお知らせしません</td> </tr> </table> <p>操作音と音声ガイドの両方とも鳴らないようにするには、音量を「0(なし)」に設定してください。</p>	on (あり)	音声ガイドでお知らせします	off (なし)	音声ガイドでお知らせしません					
	on (あり)	音声ガイドでお知らせします										
off (なし)	音声ガイドでお知らせしません											
表示の節電	「3」にする 表示の節電設定モード		<table border="1"> <tr> <td style="background-color: #ccc; text-align: center;">on (する)</td> <td>表示の節電をします(☞P11,13)</td> </tr> <tr> <td style="text-align: center;">off (しない)</td> <td>表示の節電をしません(☞P11,13)</td> </tr> </table>	on (する)	表示の節電をします(☞P11,13)	off (しない)	表示の節電をしません(☞P11,13)					
	on (する)	表示の節電をします(☞P11,13)										
off (しない)	表示の節電をしません(☞P11,13)											

5 続けて他の設定を変更する場合は、再度3~4の手順で変更する

そのまま機器を使用する場合は、運転スイッチを「入」にしてください。
 使用しない場合は、そのまま30秒放置しておくで運転スイッチ「切」の状態に戻ります。

使いかた(リモコンがない場合)

お湯を出す/お湯の温度を調節する

お湯の温度は、約60℃の高温(固定)になります。混合水栓でお湯と水を混合してお使いください。

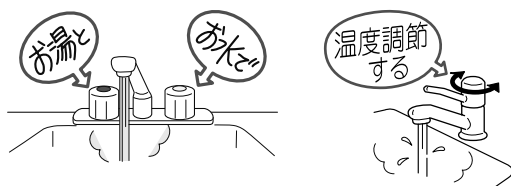
1 電源プラグを電源コンセントに差し込んでいるか確認する



2 給湯栓を開ける



3 お湯の温度を調節する



4 使用後は給湯栓を閉める



通常電源プラグは差し込んだままで、抜く必要はありません。



警告

やけど予防のために



高温注意

シャワーなどお湯を使用するときは、いきなり体や顔にかけず、手でお湯の温度を確認してから使用してください。



凍結による破損を予防する-1

お願い

*暖かい地域でも、機器や配管内の水が凍結して破損事故が起こることがありますので、以下をお読みいただき、必要な処置をしてください。

*凍結により機器が破損したときの修理は、保証期間内でも有料になります。

機器内は凍結予防ヒーターで自動的に凍結予防します

■電源プラグを抜くと凍結予防しないため、電源プラグは抜かない。

(<リモコンがある場合>運転スイッチ「入・切」に関係なく凍結予防します)

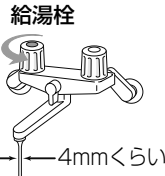
*給水・給湯配管や、給水元栓などの凍結は予防できません。必ず保温材または電気ヒーターを巻くなどの地域に応じた処置をしてください。

(わからないときは、販売店に確認してください)

■低温注意報が発表されたときや、冷え込みが厳しいときは、以下の処置をする。

機器だけでなく、給水・給湯配管、給水元栓なども同時に凍結予防できます。

1. <リモコンがある場合>運転スイッチを「切」にする。
2. ガス栓を閉める。
3. おふろの給湯栓を開いて、少量の水(1分間に約400cc・・・太さ約4mm)を流したままにしておく。
※サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、最高温度の位置に設定してください。
4. 念のため、約30分後に再度流れる量を確認する。



*結露現象予防として、運転スイッチ「切」の状態でも給湯栓から水を出さないようにお願いしていますが(P5)、凍結予防の処置の場合は問題ありません。

*サーモ付混合水栓やシングルレバー混合水栓の場合は、再使用時の温度設定にご注意ください。やけど予防のため。

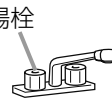
凍結してお湯(水)が出ないとき

■気温の上昇により自然に解凍するまで待つことをおすすめします。

その際、リモコンがある場合は運転スイッチを「切」にしてください。

■すぐにお湯を使いたい場合は、以下の方法をお試しください。

1. <リモコンがある場合>運転スイッチを「切」にする。
2. 台所などの給湯栓を少し開けておく。
3. ガス栓を閉め、給水元栓を回してみる(閉めてみる)。

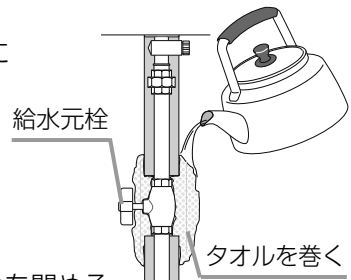


給水元栓が凍結して回らない場合

- 1) タオルを給水元栓のまわりに巻く。
- 2) 人肌程度(30~40℃)のぬるま湯を給水元栓に巻いたタオルにゆっくりかける。(床面がぬれないように処置をする)

注意

- *熱湯をかけると配管が破裂するおそれがあります。
- *機器の電源プラグ・コード、電源コンセントにお湯がかからないように注意してください。
- *ガス栓とまちがえないように注意してください。



- 3) 給水元栓が回る(水が流れる音がする)ようになったら、給湯栓を閉める。
- 4) タオルを外し、給水元栓のまわりについた水を乾いた布でふき取る。
- 5) 今後凍結しにくいようにするため、給水元栓まわりに保温材をかぶせるなどの処置をする。(わからないときは、販売店に確認してください)

給水元栓が回るのに水が出ない場合

給水元栓を必ず閉め、気温の上昇により自然に解凍するのを待つか、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

*給湯栓から水が出るようになっても、機器や配管から水漏れがないかよく確認のうえ使用してください。

凍結による破損を予防する-2

長期間使用しないときは、水抜きをしてください

注意

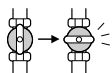


高温注意

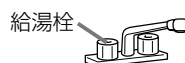
お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、
機器が冷えてからおこなってください。
やけど予防のため。

水抜き栓などからお湯または水が700cc以上(配管・設置条件によって量が異なります)出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1 ガス栓を閉める。



2 <リモコンがある場合>運転スイッチを「切」にする。
<リモコンがない場合>いずれかの給湯栓を全開にする。

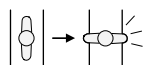


3 <リモコンがある場合>
電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

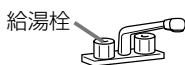
<リモコンがない場合>

2の操作より20秒以上経過後、電源プラグを抜く。 **ぬれた手でさわらない**

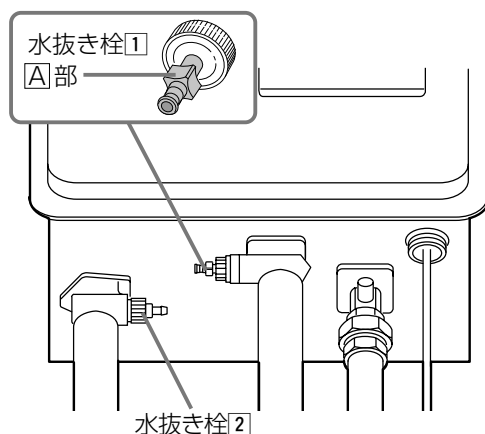
4 給水元栓を閉める。



5 すべての給湯栓を全開にする。



6 ①水抜き栓①のA部をゆるめて水を抜く。
②水抜き栓②をゆるめて水を抜く。
③水抜き栓①のA部と水抜き栓②を回して外す。



7 6の操作より10分以上経過後、完全に排水したことを確認し、水抜き栓①のA部と水抜き栓②、およびすべての給湯栓を閉める。

※各水抜き栓は、配管の保温材に隠れて見えにくいことがあります。

再使用のとき

1. 水抜き栓①のA部と水抜き栓②が閉まっていることを確認する。
2. すべての給湯栓が閉まっていることを確認する。
3. P8「初めてお使いになるときは」の手順1～4に従ってください。

日常の点検・お手入れのしかた-1

⚠ 注意



高温注意

点検・お手入れは、運転スイッチ「切」にするか、電源プラグを抜いておこなってください。

お湯の使用後は、機器内のお湯が高温になっていますので、機器が冷えてからおこなってください。

やけど予防のため。

点 検 (定期的)

チェック 機器や給排気筒トップのまわりに洗濯物・新聞紙・木材・灯油・スプレー缶など、燃えやすい物を置いていないか？

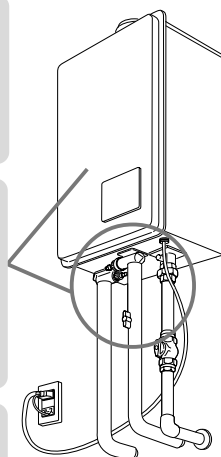
➡ 燃えやすい物を置かない。

チェック * 機器の外観に異常な変色や傷はないか？
* 運転中に機器から異常音が聞こえないか？
* 機器・配管から水漏れはないか？

➡ 現象があった場合は、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

チェック 給排気筒が外れたり、穴があいたり、ゴミなどつまっていないか？

➡ 給排気筒が外れたり、穴があいたり、つまった状態で使用しない。



(例：GQ-2437WS-FFA)

チェック 給排気筒トップにススがついていないか？

➡ ついていたら、販売店または、弊社窓口へご連絡ください。

チェック 給排気筒トップがほこりなどでふさがっていないか？

➡ ふさがっている場合は、掃除する。

お手入れ (定期的)

機器本体

- 機器本体の外装の汚れは、ぬれた布で落したあと充分水気をふきとってください。特に汚れのひどいときには、中性洗剤を使用してください。
- 海に近く潮風が当たりやすい地域の場合、機器に潮風が当たり、機器本体および配管接続部にさびが発生する場合があります。さびがひどい場合は、機器本体内部への影響も考えられますので、点検(有料)をおすすめします。

リモコン

リモコンの表面が汚れたときは、湿った布でふいてください。

- リモコンの掃除には塩素系のカビ洗浄剤や酸性の浴室用洗剤などを使用しないでください。変形する場合があります。
- 浴室リモコン・防水型増設リモコンは防水タイプですが、故意に水をかけないでください。(操作部・増設リモコンは防水タイプではありません)

日常の点検・お手入れのしかた-2

お手入れ（定期的に）

水抜き栓（フィルター付）

水抜き栓のフィルターにゴミ等が詰まると、お湯の出が悪くなったり、お湯にならない場合がありますので、以下の方法で掃除をしてください。

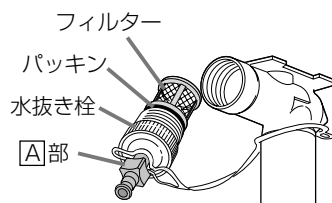
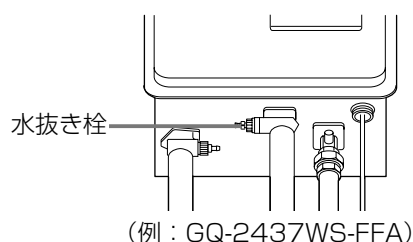
※お湯の使用後は機器内のお湯が高温になっていますので、リモコンの運転スイッチを「切」にして（または電源プラグを抜いて）、機器が冷えてからおこなってください。（やけど予防のため）

※水抜き栓などからお湯または水が出ますので、機器の下に容器などを置いて排水を受けてください。

1. 給水元栓を閉める。
2. すべての給湯栓を開ける。
3. **A**部を開ける。（注1）
4. 水が完全に抜けたら、水抜き栓を外す。（注1）
5. 配管とつながっているバンドから外し、フィルター部分を歯ブラシなどで水洗いする。（注2）
6. 元どおりに水抜き栓を取り付け、**A**部を閉める。
7. すべての給湯栓を閉める。
8. 給水元栓を開け、水抜き栓の周囲に水漏れがないことを確認する。

（注1）このとき水（湯）が出ます。

（注2）水抜き栓からフィルターが外れた場合は、水抜き栓とフィルターのパッキンをなくさないように注意してください。



<定期点検のすすめ(有料)>

ご使用上支障がない場合でも、不慮の事故を防ぎ、安心してより長くご使用いただくために、年1回程度の定期点検をおすすめします。販売店にご相談ください。

故障・異常かな？と思ったら-1

「温度」に関すること

給湯栓を開いてもお湯(水)が出てこない	<ul style="list-style-type: none">* ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？* 断水していませんか？* 給湯栓は充分開いていますか？* ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？* LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？(こんろなど他のガス器具が使用できますか？)* 水抜き栓のフィルターにゴミなどが詰まっていますませんか？ (☞P28)* 凍結していませんか？* (リモコンがある場合)運転スイッチは「切」になっていませんか？* 電源プラグが抜けていませんか？
給湯栓を開いてもすぐお湯にならない	<ul style="list-style-type: none">* 機器から給湯栓まで距離があるので、お湯が出てくるまで少し時間がかかります。
低温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">* ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？* (リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P16,17)* 水温が高いときに低温のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなることがあります。* 少量のお湯を出そうとすると、お湯の温度が設定温度より高くなる場合があります。
高温のお湯が出ない	<ul style="list-style-type: none">* ガス栓が全開になっていますか？* (リモコンがある場合)給湯温度設定は適切ですか？(☞P16,17)* 冬期など、水温が低いときに高温のお湯を多く出そうとすると、設定した温度(高温)のお湯が出ない場合があります。 給湯栓を少し閉じてお湯の量を少なくすれば、設定したお湯の温度になります。
お湯の使用中に水になった(途中で火が消えた)	<ul style="list-style-type: none">* 水温が高いときに低温のお湯を少量出そうとすると、お湯にならないことがあります(自動的に燃焼を停止し高温のお湯にならないようにします)。給湯栓をもっと開いてお湯の量を多くすれば、お湯の温度は安定します。
設定したお湯はり温度にならない	<ul style="list-style-type: none">* 前日など残り湯(水)があるときは、その分だけ設定した温度よりぬるくなります。
給湯温度の調節ができない	<ul style="list-style-type: none">* 操作しているリモコンに優先切替していますか？(☞P17)

故障・異常かな？と思ったら -2

「湯量」に関すること

給湯栓から出るお湯の量が
変化する

- * お湯を使用中、他の場所でお湯を使用すると、お湯の量が減る場合があります。水道の圧力や配管条件によっては、極端にお湯の量が減ったり、いったん止まる場合がありますが、しばらくすると安定します。
- * 給湯栓の種類によっては、初め多く出てその後安定するなど、出湯量が変化するものがあります。
- * お湯の温度を安定させるため、お湯の出初めは少なく出し、安定するとお湯をたくさん出すように機器側で制御します。

お湯はり量が
設定した湯量にならない

- * お湯はり中に台所・他でお湯を使用すると、使用した分だけお湯はりの量が少なくなります。
- * 残り湯（水）がある場合や、お湯はりを中断して再度お湯はりする場合、浴槽に残っている湯（水）の量だけ、設定したお湯はりの湯量より多くなります。

設定した湯量までお湯はり
してもお湯はりメロディが
鳴らない／鳴るタイミング
がずれている

- * 次のような場合は、お湯はりメロディは鳴りません。
 - ・ お湯はり中に、操作部で優先を切り替えるため運転スイッチを「切」「入」した場合
 - ・ 音量を「□（なし）」に設定している場合（☞P23）
- * 設定した湯量分お湯が連続して出ると、お湯はりメロディが鳴るしくみになっています。
お湯はり中に台所やシャワーでお湯を使うと、設定した湯量になる前にお湯はりメロディが鳴ります。
- * サーモスタット付混合水栓の場合、水栓で水を混ぜるため、設定したお湯はり湯量より水の分だけ多いところでお湯はりメロディが鳴ります。

「リモコン」に関すること

<p>運転ランプが点灯しない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 停電していませんか？ * 電源プラグが差し込まれていますか？
<p>時計表示が「0:00」になっている</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 停電後、再通電すると時計表示が「0:00」になりますので、時計合わせをしておしてください。(☞P4)
<p>停電または電源プラグを抜いた後、給湯温度が変わってしまう</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 停電または電源プラグを抜いた後、再通電すると給湯設定温度がお買い上げ時の設定に変わる場合がありますので設定しなおしてください。
<p>リモコンの画面表示がいつのまにか消えている</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 機器を使用しないまま約 10 分（浴室リモコンはお湯はり機能を使った場合約 1 時間）たつと画面表示が消えます。(表示の節電) (☞P11,13) <p>再使用したり、スイッチを押すと、表示の節電を解除します。</p>
<p>スイッチを押してもそのスイッチの動作をしない (例) 運転スイッチを押して「切」にしたはずなのに切れていない など…</p>	<p><呼出スイッチまたはお湯はりスイッチ以外の場合></p> <ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電中にスイッチを 1 回押すと、表示の節電を解除し、もう 1 度押すとそのスイッチの機能がはたらきます。 <p>運転スイッチ「入・切」は、ランプ「点灯・消灯」で確認してください。</p>
<p>表示の節電の状態にならない</p>	<ul style="list-style-type: none"> * 表示の節電「する」の設定になっていますか？ (☞P23) * 給湯温度を 60℃、75℃に設定している場合は、表示の節電にはなりません。 * 時計表示をしているときは、表示の節電はしません。
<p>リモコンのスイッチや表面のビニールが破れてきた、はがれてきた、浮き上がって空気が入っている</p>	<ul style="list-style-type: none"> * リモコンの表面には、出荷時に保護シート（表面に傷などがつかないようにするためのもの）が貼ってあります。 <p>この保護シートは、はがさずに使用してもはがして使用してもかまいません。</p> <p>保護シートをはがさずに使用した場合は、よく触れる部分などが破れてきたりはがれてきたりしますが、そこからリモコンに水が入って故障することはありません。気になる場合は保護シートをはがしてください。</p>

故障・異常かな？と思ったら-3

「音」に関すること

運転を停止しても
しばらくの間ファンの
回転音(ブーン)がする

* 再使用時の点火をより早くするため、また、再使用時にお湯の温度を早く安定させるために機器が作動している音です。

運転スイッチを「入・切」したり、
給湯栓を開閉したり、
機器の使用後しばらくすると
モーターが動く音(クックッ、
クー)がする

その他

使用中に消火した

* ガス栓・給水元栓が全開になっていますか？
* 断水していませんか？
* 給湯栓は充分開いていますか？
* ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していませんか？
* LPガスの場合、ガスがなくなっていないですか？(こんろなど他のガス器具が使用できますか？)

寒い日に給排気筒トップから
湯気が出る

* 冬に吐く息が白く見えるように、排気ガス中の水蒸気が白く見えるためです。

お湯が白く濁って見える

* 水中に溶け込んでいた空気が熱せられ、細かい泡となって出てくる現象で、無害なものです。

機器の給湯側の水抜き栓
(過圧防止安全装置)からお湯(水)が少しの間出ることがある

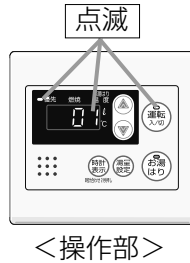
* 機器内に高い圧力が生じたとき、過圧防止安全装置のはたらきにより、水抜き栓から水滴がおちることがあります。
(排水配管などが必要な場合は、販売店にご相談ください)

水が青く見える
浴槽や洗面台が青く変色した

* 浴槽や洗面台が水中に含まれる微量の銅イオンと脂肪分(湯あか)により青く着色することがありますが、健康上問題ありません。浴槽や洗面台をこまめに掃除することにより、着色しにくくなります。

故障表示をお調べください

不具合が生じたとき、表示画面に故障表示が点滅します。
下表に応じた処置をしてください。



表示	原因	処置
01	給湯を連続60分以上運転したため	給湯栓を閉め、運転スイッチをいったん「切」にし、再度「入」にして使用してください。
11	点火エラーが生じたため	運転スイッチ「切」にし、ガス栓が開いているか、ガスメーター(マイコンメーター)がガスをしゃ断していないか、またはLPガスがなくなっていないか(こんろなど他のガス器具が使用できるか)を確認して、問題があれば処置してください。 その後運転スイッチを「入」にし、給湯栓を開いて表示が出なければ正常です。
88	長期にわたり機器を使用したため	一般的な使用で10年相当使用されたため「点検お知らせ機能」がはたらいてお知らせしていません。機器は使用できますが、安全・安心のために点検(有料)をご検討のうえ、下記のお問い合わせ先までお申し込みください。 お問い合わせ先：0120-911-026 <ガイダンス番号0番> (受付時間/365日24時間)
OFF	お風呂のお湯はり(オートストップ)が終了してから10分以上経過していたり、お湯はりに中に運転スイッチを「切」にしたため	すべての給湯栓を閉めてから、お湯はりスイッチを押してください。

以下の場合、販売店または、弊社窓口にご連絡ください

- ・上記以外の表示(例：01など)が出るとき
- ・上記の処置をしてもなお表示がくりかえし出るとき
- ・その他、わからないとき

アフターサービスについて

サービスを依頼されるとき

P29～33の「故障・異常かな?と思ったら」を調べていただき、なお異常のあるときは、販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

連絡していただきたい内容

型式名……………(銘板の「型式」をご覧ください)

※銘板の貼付位置はP39参照

お買い上げ日……………(保証書をご覧ください)

異常の状況……………(故障表示など、できるだけ詳しく)

ご住所・ご氏名・電話番号

訪問ご希望日



※作業に危険を伴う場所に製品が取り付けられている場合は、アフターサービスをお断りすることがあります。(工事店にご相談ください。)

保証について

取扱説明書の最終ページに保証書がついています。

必ず「販売店名・お買い上げ日等」が記入されているのを確認してください。

保証書の内容をよくお読みになったあとは、大切に保管しておいてください。

無料修理期間経過後の故障修理については、修理によって機能が維持できる場合、有料で修理いたします。

補修用性能部品の保有期間について

この製品の補修用性能部品の保有期間は、製造打切後7年(BL認定品は10年)です。

なお、補修用性能部品とは、製品の性能を維持するための部品です。

移設される場合

転居などで機器を移設されるときは、機器(銘板)に表示してあるガスの種類・電源(電圧)が移設先と合っているか必ずご確認ください。

不明のときは、移設先のガス事業者・販売店または、弊社窓口にご相談ください。

ガスの種類の異なる地域へ移設されるときは、機器の改造・調整が必要です。この改造・調整に伴う費用は、保証期間中でも有料です。

※ガスの種類によっては改造・調整ができない場合があります。

その他

BL認定品には、機器の前面にBLマークを表示しています。

BL認定品は、「優良住宅部品」「瑕疵保証・賠償責任保険付」です。

ベターリビングお客様相談室の電話番号は「03-5211-0680」です。

主な仕様-1

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

仕様表

		24号	
型 式 名	GQ-2437WS-FFA	GQ-2437WS-FFB	
種 類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋内設置形	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使用水圧(MPa)	0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
	最低作動水圧(kPa)	10(0.1kgf/cm ²)	
	最低作動流量(L/分)	3.5	
	外形寸法(mm)	高さ640×幅350×奥行240	
	質量(本体)(kg)	20	19
接 続 口 径	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R1/2	
電 気 関 係	電 源	AC100V(50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)(W)	82/82	72/72
	凍結予防ヒーター	141	
	待機時消費電力(W)	3.0	
	湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

		24号	
型 式 名	GQ-2438WS-FFA	GQ-2438WS-FFB	
種 類	給湯方式	先止め式	
	設置方式	屋内設置形	
点 火 方 式	放電点火式		
水 圧	使用水圧(MPa)	0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
	最低作動水圧(kPa)	10(0.1kgf/cm ²)	
	最低作動流量(L/分)	3.5	
	外形寸法(mm)	高さ640×幅350×奥行240	
	質量(本体)(kg)	20	19
接 続 口 径	給湯	R3/4	
	給水	R3/4	
	ガス	R3/4	
電 気 関 係	電 源	AC100V(50/60Hz)	
	消費電力(50/60Hz)(W)	86/86(都市ガス6A,L2), 80/80(都市ガスL1.5C,L3)	72/72
	凍結予防ヒーター	141	
	待機時消費電力(W)	3.0	
	湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置		

主な仕様-2

		20号	
型 式 名		GQ-2037WS-FFA-1 GQ-2037WS-FFA	GQ-2037WS-FFB-1 GQ-2037WS-FFB
種 給 湯 方 式		先止め式	
類 設 置 方 式		屋内設置形	
点 火 方 式		放電点火式	
水 使用水圧(MPa)		0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
圧 最低作動水圧(kPa)		10(0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量(L/分)		3.5	
外 形 寸 法(mm)		高さ640×幅350×奥行200	
質 量(本体)(kg)		18	17
接 給 湯		R1/2またはR3/4(製品により異なります)	
続 給 水		R1/2またはR3/4(製品により異なります)	
口 給 水		R1/2	
径 力 入		R1/2	
電 電 源		AC100V(50/60Hz)	
電 消 費 電 力		68/68(都市ガス12A,13A), 66/66(LPガス)	70/70
気 (50/60Hz)(W)		凍結予防ヒーター141	
関 待 機 時 消 費 電 力(W)		3.0	
係			
湯 温 制 御 方 式		電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置		立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

		20号	
型 式 名		GQ-2038WS-FFA	GQ-2038WS-FFB
種 給 湯 方 式		先止め式	
類 設 置 方 式		屋内設置形	
点 火 方 式		放電点火式	
水 使用水圧(MPa)		0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²) <推奨水圧 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²) >	
圧 最低作動水圧(kPa)		10(0.1kgf/cm ²)	
最低作動流量(L/分)		3.5	
外 形 寸 法(mm)		高さ640×幅350×奥行200	
質 量(本体)(kg)		18	17
接 給 湯		R1/2またはR3/4(製品により異なります)	
続 給 水		R1/2またはR3/4(製品により異なります)	
口 給 水		R3/4	
径 力 入		R3/4	
電 電 源		AC100V(50/60Hz)	
電 消 費 電 力		66/66(都市ガス6A,L2,L3), 70/70(都市ガスL1,5C)	72/72(都市ガス6A,L1,5C), 64/64(都市ガスL2,L3)
気 (50/60Hz)(W)		凍結予防ヒーター141	
関 待 機 時 消 費 電 力(W)		3.0	
係			
湯 温 制 御 方 式		電子式ガス比例制御方式	
安 全 装 置		立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスはJISに規定する標準ガス、標準圧力での値です。

16号		
型 式 名	GQ-1637WS-FFA	GQ-1637WS-FFB
種 類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋内設置形
	点火方式	放電点火式
水 圧	使用水圧(MPa)	0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²)<推奨水圧 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²)>
	最低作動水圧(kPa)	10(0.1kgf/cm ²)
	最低作動流量(L/分)	3.5
	外形寸法(mm)	高さ640×幅350×奥行200
	質量(本体)(kg)	18
接 続 口 径	給湯	R1/2またはR3/4(製品により異なります)
	給水	R1/2またはR3/4(製品により異なります)
	ガス	R1/2
電 気 関 係	電 源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)(W)	48/48
	待機時消費電力(W)	凍結予防ヒーター141 3.0
	湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

16号		
型 式 名	GQ-1638WS-FFA	GQ-1638WS-FFB
種 類	給湯方式	先止め式
	設置方式	屋内設置形
	点火方式	放電点火式
水 圧	使用水圧(MPa)	0.1~1.0(1.0~10.0kgf/cm ²)<推奨水圧 約0.15~0.5(約1.5~5.0kgf/cm ²)>
	最低作動水圧(kPa)	10(0.1kgf/cm ²)
	最低作動流量(L/分)	3.5
	外形寸法(mm)	高さ640×幅350×奥行200
	質量(本体)(kg)	18
接 続 口 径	給湯	R1/2またはR3/4(製品により異なります)
	給水	R1/2またはR3/4(製品により異なります)
	ガス	R3/4
電 気 関 係	電 源	AC100V(50/60Hz)
	消費電力(50/60Hz)(W)	52/52
	待機時消費電力(W)	凍結予防ヒーター141 3.0
	湯温制御方式	電子式ガス比例制御方式
安 全 装 置	立消え安全装置、空だき安全装置、停電時安全装置、過熱防止装置、過電流防止装置、凍結予防装置、過圧防止安全装置、ファン回転検出装置、沸騰防止装置、漏電安全装置	

主な仕様-3

- ・本仕様は改良のためお知らせせずに変更することがあります。
- ・出湯能力は湯水混合の計算値です。
但し、水圧、給湯配管の条件、お湯の設定温度によって多少異なります。
- ・ガスは JIS に規定する標準ガス、標準圧力での値です。
- ・型式によっては、該当しないガス種もあります。

能力表

24号		型式名	GQ-2437WS-FFA, GQ-2438WS-FFA, GQ-2437WS-FFB, GQ-2438WS-FFB	
使用ガス		ガス消費量 (最大消費量) (kW)	出湯能力 (最大時) (L/分)	
			水温 +25℃上昇	水温 +40℃上昇
都市ガス用	13A	52.3	24	15
	12A	48.8	22.5	14
	6A	52.3	24	15
	L1(6B,6C,7C)	52.3	24	15
	5C	52.3	24	15
	L2(5A,5AN,5B)	52.3	24	15
	L3(4A,4B,4C)	47.7	22	13.5
LPガス用		52.3	24	15

20号		型式名	GQ-2037WS-FFA, GQ-2037WS-FFA-1, GQ-2038WS-FFA, GQ-2037WS-FFB, GQ-2037WS-FFB-1, GQ-2038WS-FFB	
使用ガス		ガス消費量 (最大消費量) (kW)	出湯能力 (最大時) (L/分)	
			水温 +25℃上昇	水温 +40℃上昇
都市ガス用	13A	43.6	20	12.5
	12A	40.7	18.5	11.5
	6A	43.6	20	12.5
	L1(6B,6C,7C)	43.6	20	12.5
	5C	43.6	20	12.5
	L2(5A,5AN,5B)	40.7	18.5	11.5
	L3(4A,4B,4C)	40.7	18.5	11.5
LPガス用		43.6	20	12.5

16号		型式名	GQ-1637WS-FFA, GQ-1638WS-FFA, GQ-1637WS-FFB, GQ-1638WS-FFB	
使用ガス		ガス消費量 (最大消費量) (kW)	出湯能力 (最大時) (L/分)	
			水温 +25℃上昇	水温 +40℃上昇
都市ガス用	13A	34.9	16	10
	12A	32.6	15	9.5
	6A	34.9	16	10
	L1(6B,6C,7C)	34.9	16	10
	5C	34.9	16	10
	L2(5A,5AN,5B)	34.9	16	10
	L3(4A,4B,4C)	34.9	16	10
LPガス用		34.9	16	10


冬期の入浴について

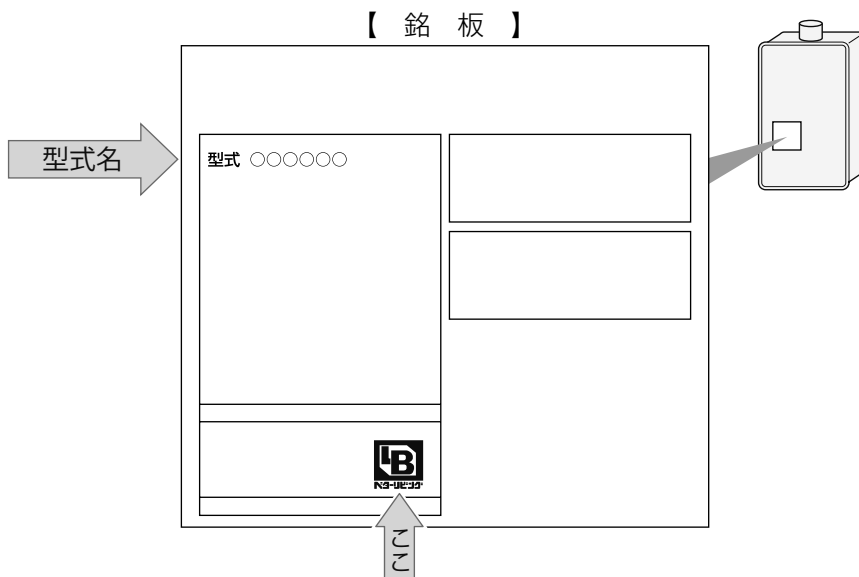
冬期など浴室・脱衣室と居室の温度差が大きいときは、急激な温度変化による身体への悪影響（ヒートショック）によって、特に高齢者は入浴時の事故につながるおそれがあります。入浴時に暖房機器で浴室と脱衣室をあたためるなどしてください。浴室をあたためるには、シャワーでお湯を流したり、浴槽にふたをしないでのお湯はりする方法もあります。

本保証書は下記製品に適用します

型 式 名	GQ-2437WS-FFA	GQ-2037WS-FFA	GQ-1637WS-FFA
	GQ-2437WS-FFB	GQ-2037WS-FFA-1	GQ-1637WS-FFB
	GQ-2438WS-FFA	GQ-2037WS-FFB	GQ-1638WS-FFA
	GQ-2438WS-FFB	GQ-2037WS-FFB-1	GQ-1638WS-FFB
		GQ-2038WS-FFA	
		GQ-2038WS-FFB	

= BL認定品と型式名の確認のしかた =

※BL認定品には、機器正面に貼り付けてある銘板にBLマーク  を表示しています。



無料修理保証書

本書は、本書記載内容で無料修理をおこなうことをお約束するものです。お買い上げの日から下記保証期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡ください。

お客さま	ご芳名 様		型式名	(この保証書の裏をご覧ください)
	ご住所			
販売店	店名	扱者印		
	住所			
	電話番号			
お買い上げ日		年 月 日		

〈保証対象部分・保証期間〉

1. 保証対象部分：機器本体、リモコン
2. 保証期間：お買い上げ日より1年間(BL認定品は2年間)。但し、下記部品については別途以下の年数を保証いたします。
熱交換器・機器本体内の電装基板…5年間
※BL認定品についてはこの保証書の裏をご覧ください。

〈無料修理規定〉

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った正常な使用状態で、保証期間中に故障した場合には、弊社が無料修理致します。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理をおこなった場合には、出張に要する実費を申し受けます。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合は、お買い上げの販売店または、弊社窓口にご連絡の上、修理に際して本書をご提示ください。
3. ご転居の場合は事前にお買い上げの販売店または、弊社窓口にご相談ください。
4. ご贈答品等で本書に記入してあるお買い上げの販売店に修理の依頼ができない場合には、弊社窓口にご相談ください。
5. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (1) 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書によらない使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (2) お買い上げ後の専門業者以外による取付場所の移動、落下等による故障及び損傷。
 - (3) 建築躯体の変形等機器本体以外に起因する当該機器の不具合、塗装の色あせ等の経年変化またはご使用に伴う摩耗等により生じる外観上の現象。
 - (4) 火災、塩害、地震、風水害、雷、煤煙、降灰、酸性雨、腐食性等の有害ガス、ほこり、異常気象、異常電流、異常電圧、異常電磁波、異常周波数、ねずみ・鳥・くも・昆虫類等の侵入及びその他の天災、地変による故障及び損傷。
 - (5) 水道管の錆び等異物の流入による故障及び損傷。
 - (6) 車両、船舶に備品として搭載された場合に生じた故障及び損傷。
 - (7) 工事説明書に指示する方法以外の工事設計または取付工事等が原因で生じた不具合、故障及び損傷。
 - (8) 業務用(喫茶店、理美容院、飲食店、事務所等)でご使用になった場合。
 - (9) 機器に表示してある以外の使用燃料・使用電源(電圧・周波数)でご使用になった場合。
 - (10) 温泉水、井戸水、地下水を給水したことに起因する不具合。
 - (11) 排水不良等による機器の冠水等に起因する不具合。
 - (12) 本書のご提示がない場合。
 - (13) 本書にお買い上げ年月日、お客さま名、販売店名の記入捺印のない場合、あるいは字句を書き替えられた場合。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。 This warranty is valid only in Japan.

保証責任者 **株式会社ノーリツ** 神戸市中央区江戸町93番地



■お客さまへ

1. この保証書をお受け取りになる時にお買い上げ日、販売店名、扱者印が記入・捺印してあることを確認してください。
2. 本書は再発行いたしませんので紛失されないよう大切に保管してください。
3. 無料修理期間経過後の故障修理等につきましては、取扱説明書の「アフターサービスについて」の項をご覧ください。
4. この保証書によって保証書を発行している者(保証責任者)、およびそれ以外の事業者に対するお客さまの法律上の権利を制限するものではありません。

修理・点検・商品についてのお問い合わせは…

株式会社ノーリツ
コンタクトセンター

通話料金無料

0120-911-026

携帯電話からのお問い合わせは… **0570-064-910** (通話料がかかります)

お問い合わせについて

■PHS・IP電話等でつながらない場合は、一般電話・携帯電話からおかけ直してください。 ■お問い合わせの内容確認と正確な対応のため、録音させていただく場合がございます。 ■正確な対応のため、発信電話番号通知をお願いしております。非通知設定をご利用の場合は、はじめに「186」をダイヤルし発信電話番号通知のご協力をお願いいたします。

(270720)